

＜幼稚園運営連絡会による協議結果について（学校関係者評価）＞

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼稚園運営連絡会全2回を書面で実施し、運営委員の方より書面でご回答をいただきました。1回目は、11月13日に園の教育の状況や新型コロナウイルス感染症感染防止の状況について、2回目は、2月24日に、本年度の保護者アンケートの結果とこれを踏まえた課題と次年度の方策について、お伝えをいたしました。たくさんの委員の皆様にご回答をいただきました。ありがとうございます。いただいたご意見について、大変失礼ながら、抜粋させていただき、ご報告いたします。この結果を令和3年度の教育に生かしてまいります。

＜新型コロナウイルス感染症感染予防について＞

- 仮に感染者が出てしまったとしても、園児や家族が差別されることがないように対応ができることを希望しております。
- 休園中も、医療従事者などのお子さんをお預かりされていたのを知っております。ありがとうございました。
- 園が実施する取り組みや各家庭にお願いする事項について周知を徹底し、各家庭において安心して登園できる環境が整えられることを祈念しています。

＜保護者アンケートの結果について＞

- 「子どもの気持ちを大切にしてくれている」「じっくり話を聞いてくれている」などの保護者からの感謝の気持ちが伝わり、嬉しく思いました。私も以前、参観させていただいたとき、そのように思いました。
- 保護者アンケートの回収率が100%であることは、それだけ、園の運営に保護者が関心をもっている証拠でもあり、素晴らしいことです。

＜園の教育について＞

- コロナ禍の中でも子どもたちの園内での生活が豊かだったことが分かり、安心しました。幼児教育は、人間教育の第一歩なので、一人一人個性ある子どもと親に対応して大変な努力が必要だと思います。
- 3月より清掃の専門の方が入るそうで、その分だけでも、先生方の力が抜ける部分があることに、ほっとしています。不安な世の中なので、なお一層、子どもたちが心安らぐ場所としての幼稚園、子どもと先生との心の交流の時に当ててほしいと思います。
- 常に上を向いて、保育の向上を目指すことは勿論ですが、現状の方針を貫くことで、成果がついてくるように思います。
- 幼稚園における生活（とりわけ6歳児）は、小学校入学へ向けての準備段階としての側面もあると思います。準備段階というのは、いわゆるお受験対策といった意味ではなく、小学校という社会のルールに馴染むための準備期間と言う意味です。番町小学校の1年の担任の先生とも連携を取ってください。

＜幼児期の教育について＞

- コロナについては、マイナス面ばかり目につきます。しかし、不謹慎の誹りを恐れず、翻って鑑みるに、感染予防に関する行動は、「自らが感染させないようにするという点において、自分自身を大切にすること」を、そして、「他者に感染させないようにするという点において、親兄弟、友人をはじめとする身近な人を大切にすること」を、身をもって学ぶ好機と捉えることも可能であると思います。園児に求めるには高度過ぎる願望かもしれませんが、苦境・逆境というべき環境にあってこそ、その中から何かを学び取れる人に成長することを希望します。
- 嬉しい事も、困ったことも、全ての経験は財産です。小さな子どもたちが、その経験を財産として自分の中に留めておくには先生方、保護者、または地域の大人たちがどう導いていくかが大切だと思います。